

松蔭 校長室だより

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

2021年 6月 1日 発行

松蔭中学校・松蔭高等学校

校長 浅井 宣光

「私は決して勉強が大好きではないですが、人生に後悔を残すことが怖くて、自分を動かしています。」

(卒業生の言葉。高校「進路の手引き」より)

進路実現に向かって

「第1回進路希望調査」を実施し、高校3年生の現時点での希望進路の集計結果が出ました。併設大学への専願希望者は、この時期としては例年より多い25%でした。外部大学の志望者は65%。立教大、関大、関学大、甲南大など人気私大や国公立大の名前があがっています。先月以来、実力考査、小論文模試、大学入学共通テスト模試など学力点検を行うとともに、併設大学の校内学科説明会、各大学の教員による入試説明会(校内オープンキャンパス)などが続きます。先月末の日曜日には学校が英検本会場となり、2級未取得者がチャレンジしました。

本校独自の高校生向け冊子「進路の手引き」(右の写真)の表紙は、美術科の安藤先生が描いた冬服姿の松蔭生イラストです。この冊子には、希望進路の決定までのスケジュールや卒業生からのアドバイスなど、高校入学時点から高3までの進路選択のノウハウがまとめられています。また、併設大への内部進学制度(松蔭特薦)や、外部私大や国公立大への「一般選抜」(一般入試)、「学校推薦型選抜」(指定校推薦や公募推薦)、「総合型選抜」(AO入試)の各入試方式について、詳しい解説が掲載されています。各大学からの指定校推薦の枠についての最新情報もあり、2021年度入試の場合、関西大9名、関学大15名、立命館大1名をはじめ、聖公会関係学校協定のある立教大8名や、薬学、看護学部への推薦枠(神戸薬科大、聖路加国際大ほか)となっています。

今後、担任との面談や三者面談を経て希望進路を決定しますが、進学補習、校内予備校などの学力面のサポートや小論文作成など論述文の指導など、進路指導部と学年団、さらには学校一丸となって学習と心理の両面で生徒支援を行います。冒頭の言葉は、助産師になることを目指して大学の保健学科に進学した卒業生のコメントです。将来の職業を見通した学部学科選び、最適な入試方法の選択、そして進路実現のための日々の努力は、少なくとも高校最後の1年間の「人生に後悔を残すこと」はないでしょう。生徒の皆さんの健闘を祈りたいと思います。



<「進路の手引き」 左側が今年度版>

次年度の高等学校「新学習指導要領」導入 「教育課程」移行期の中高6学年

大学教育、高校教育とその接続(大学入試)の中身を変える、「三位一体」の教育改革は、目まぐるしく変化し続ける社会情勢に対応できる人材の育成を目標としてすすめられています。高校教育においては、暗記学習の結果を重視するのではなく、学力の3要素と呼ばれる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の3観点にもとづく新学習指導要領(新課程)が、2022年度高校1年生から年次進行で導入されます。その方向性は、基礎学力を定着させつつ、主体性や問題解決能力の育成を多様な観点から行う教育、とざっくりと言えるように思います。特に課題や問題点を見出し、その解決方法を考えたり、プロジェクトを構想したりする「課題解決型学習」や「プロジェクト学習」(それぞれ手法は異なりますが、頭文字をとって両方とも「PBL」と呼んでいます)を授業その他の学習活動で導入するのです。「探究」を冠した科目(「理数探究」「日本史探究」「世界史探究」など)が設けられることも特色です。この方向性は、現行の高校課程でも、「総合的な探究の時間」が設定され、調べ学習をしたり協働して学んだりするアクティブラーニングの手法の積極的な導入など、すでに動き出しています。

高校教育の改革とともに大学入試改革も始まっています。私大、国公立大ともに「総合型選抜」入試では、書類審査や

小論文試験、面接を課し、高校時代の学びについても資料として個性や能力、さらに将来性について総合的に評価し、選抜しています。センター入試は前回入試から「大学入学共通テスト」となりました。一時は記述式問題の導入が取沙汰されましたが、全科目でマーク式解答のスタイルが継続されています。しかし、各科目とも作問のスタイルや出題形式が大きく変わりました。知識や解法の暗記だけで解答できる問題が減少し、文章読解やグラフ、数表などのデータを読み取ったり、地図や写真資料が示す内容を理解したうえで思考、判断したりする力を評価する出題が増えました。

現中3生が対象となる2025年度入試が、高校教育改革と大学入試改革の制度上の完成年度ですが、ようやく具体的な中身が相次いで公表されるようになりました。国立大学協会の発表によると、2004年以来「センター入試」で実施してきた国語・地歴公民・数学・理科・外国語の「5教科から7科目」を選択して受験する方式を、2025年度「大学入学共通テスト」では、新たに「情報」を加えて「6教科から8科目」とするとのことです。本校の現行課程では、「情報」は高3の必修科目ですが、新課程では「情報I」（必修）と「情報II」（選択）に再編され、プログラミングやデータサイエンスの手法などを学びます。「共通テスト」の各科目は、今後も思考、判断する力を評価する作問傾向が一層すすむとともに、論述形式の2次試験も増え、私大の一般入試においてもこの傾向が強まることが予測されます。

本校では、2022年度の高2および高3は現行の高校課程ですが、高1が「新課程」へ移行します。中学では、全学年ともストリーム制となり、2023年度からの高校課程は新たに3コース制を設置します。3つの教育課程が校内に併存する「移行期」ですが、校内委員会（カリキュラム委員会）を中心に高校新課程、新コースの運営について検討を重ね、準備作業を行っているところです。それぞれの教育課程での学びが、一人ひとりに最大の教育効果をもたらすよう努める所存です。

6月の行事予定

校内での主な行事の予定です。生徒が参加する行事の詳細は、各学年からの連絡でご確認ください。緊急事態宣言の延長により、各学年PTA学級委員会（クラス役員の方）、特別委員会（広報、生活、文化）を中止・延期しましたが、7月10日（土）午後、全役員による「PTA拡大運営委員会」を開催する方向で調整しています。

各文化部の活動発表会は、保護者、在校生とも事前申し込み制です。5月27日時点の決定分を掲載しています。

- 6月 1日（火） 高3校内オープンキャンパス（放課後）
- 6月 2日（水） 中2実力考査 中3総合「平和（被爆者の話）」講演会（講師：岡邊好子さん）
- 6月 3日（木） 団体鑑賞中止、平常授業
- 6月 5日（土） 文化部活動発表会（フォークソング、箏曲、ハンドベル）
- 6月10日（木） 耳鼻科健診（中1、中3、高3）
- 6月11日（金） お誕生日礼拝 漢検（該当者）
- 6月12日（土） 高校入試説明会（授業見学会） 文化部活動発表会（モダンダンス）
- 6月13日（日） 芦研模試会場（中学入試説明会）
- 6月14日（月） 古典装束鑑賞会（⑤⑥校時、高校のみ）
- 6月16日（水） 中3実力考査 中IDS授業参観/夏のキャンプ説明会（オンライン）
中2総合「いのち」講演会（講師：ダウン症親子サークル、チェリッシュ代表上村直美さん）
- 6月17日（木） 2次検尿（該当者） 歯科検診（全学年） 文化部活動発表会（マンガ研究）
- 6月18日（金） 2次検尿（該当者）
- 6月19日（土） 中学入試説明会（授業見学会） 文化部活動発表会（書道、マンドリン）
- 6月22日（火） 内科・眼科検診（高2）
- 6月23日（水） 中3総合「平和」映画鑑賞（⑤⑥） 中学アSEMBリー（放課後）
- 6月24日（木） 高校アSEMBリー（放課後）
- 6月27日（日） 英検2次試験本会場